

毎回大行列のできる

四季のラーメンとは？

その日しか体験できない
独創的な一杯の小宇宙

「四

季のラーメン」とは『博多 一風堂』の創業者である河原成美が一人のラーメン職人として、春夏秋冬を一杯の丼の中に表現する創作ラーメンイベントです。一杯のラーメンをつくりあげるために河原は、商品開発を専門に手がける『TEAM

KAWAHARA』とともに数カ月間にわたって試行錯誤を繰り返します。

モチーフを見つけ出し、コンセプトを決め、完成型を採っていきます。様々な手法でスープがとられ、それらのブレンド比率を決めていく。自社工場で作る多様な麺の中からスープに最も適したものを選び出す。古今東西の様々な技法で具材を調理してみる。

世界観を表現するためにその日のラーメン専用の器が焼かれ、ユニフォームも新調されます。

再び現出することない、一杯の小宇宙。そう、「四季のラーメン」はまさに、その日二日しか味わうことのできない、贅沢なイベントなのです。

さらなる進化を続ける
前衛的なラーメン

2001年から7年間にわたって19回開催された「四季のラーメン」は、ラーメン職人ももとより飲食業界全体に、ま

た異分野のアーティストや職人、ラーメンフリークに「ラーメンの可能性」を提示し、「表現の自由度」を拡大し続けました。

2013年からは「第二章」がスタートし、10月には海外初となるNYで開催。ニューヨークたちをうならせました。

今回、第25作目の開催地として選ばれたのが「京都 五行」。関西圏では初めての試みです。京都祇園祭の熱気が冷めやらぬ中、この地に新たな衝撃を生み出すべく、今日も熱い試作が続いています。



過去のラーメンと開催地

【四季のラーメン 第一章】

- 2002年6月26日 ●「博多一風堂」大名本店（福岡）第1作「誕生」
- 2002年9月26日 ●「博多一風堂」大名本店（福岡）第2作「生きる」
- 2003年2月5日 ●「博多一風堂」大名本店（福岡）第3作「友」
- 2003年6月26日 ●「博多一風堂」大名本店（福岡）第4作「向夏」
- 2004年4月27日 ●「博多一風堂」大名本店（福岡）第5作「知新」
- 2005年3月30日 ●「博多一風堂」大名本店（福岡）第6作「春かすみ」
- 2005年8月25日 ●「博多一風堂」大名本店（福岡）第7作「涼風」
- 2006年2月22日 ●「博多一風堂」大名本店（福岡）第8作「麺王」
- 2006年10月14日 ●「博多一風堂」大名本店（福岡）第9作「神無月に誘われて」
- 2007年9月3日 ●「博多一風堂」大名本店（福岡）第10作「GENKAI TAICHA」
- 2007年12月14日 ●「博多一風堂」大名本店（福岡）第11作「12 in NY」
(ツインセンター・イン・ニューヨーク)
- 2008年2月20日 ●「銀座五行（東京）第12作「花の東京ど真ん中」
- 2008年6月13日 ●「銀座五行（東京）第13作「W」
- 2008年10月23日 ●「銀座五行（東京）第14作「あら燻蒸」
- 2009年4月1日 ●「銀座五行（東京）第15作「GENKAI TAICHA2009」
- 2009年5月28日 ●「銀座五行（東京）第16作「久留米荘はロックだ！」
- 2009年7月3日 ●「博多一風堂」大名本店（福岡）第17作「ロック久留米荘！」
- 2009年8月6日 ●「銀座五行（東京）第18作「真赤な太陽」
- 2009年11月6日 ●「銀座五行（東京）第19作「お披露目ちゃんぽん」

【四季のラーメン 第二章】

- 2013年4月30日 ●新横浜ランドラクト（横浜）第20作「ラーメンはロックだ！」
- 2013年8月11日 ●イチノイチノイチ（東京）第21作「SHO-JIN2013」
- 2013年10月24日 ●IPPUDO 2号店第22作「SHO-JIN in NY」
- 2013年12月18日 ●「博多一風堂」銀座店（東京）第23作「2013ファイナル蛸だしラーメン」
- 2014年4月23日 ●「博多一風堂」銀座店（東京）第24作「Zuzutto ver.2」